

第47回全国ミニバスケットボール大会出場報告書

この度、山口県代表として「東日本大震災復興支援 JX-ENEOS 第47回全国ミニバスケットボール大会」に参加させていただきました。

「全関西」同様、光井ミニバスが結成されて初めての参加でした。

今回の出場は、この1年間の子どもたちのミニバスケットボールに対する日々の前向きな取組の成果であったと思います。本大会においても、子どもたちは光井ミニバスらしいコート縦横無尽に走り回るバスケットを見せることができました。

しかし、私ども指導者が、ユニホーム着用に関わる競技上の注意義務を怠ったため、子どもたちのこれまでの頑張りに水を差してしまう事態となってしまいました。子どもたちに対し本当に申し訳ないことをしてしまいました。

同時に、日本ミニバスケットボール連盟、本大会事務局、対戦した福井県、滋賀県ミニバスケットボール連盟、対戦相手の皆様にも多大なるご迷惑をおかけしてしまいました。山口県代表として、誠に恥ずかしく情けなく思っております。

また、山口県全てのミニバスケットボールに関わる方々がめざしてきた全国大会においての失態は、本県の選手や指導者の皆様の大会に向けての思いを踏みにじるような行為であると、指導者として深く反省しております。あわせてお詫び申し上げます。今後は二度とこのような失態を起こさぬように、様々な場面において細心の注意をはらい、事に当たることを肝に銘じ、臨んで参りたいと思います。それと共に、指導者一同資質高める研修を重ね、微力ではありますが、子どもたちの健全育成にかかわり、この度のマイナスをプラスに変えていく所存でございます。全国大会出場のご報告が、このような形となり大変申し訳ございませんでした。何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。

光井ミニバスケットボールスポーツ少年団
代表 木 船 孝 史

私たちの新チームが結成されてからの目標は『全国大会出場』でした。秋の県決勝大会では、日頃の練習の成果を出し切り、みんなで力を合わせて優勝することができました。夢の全国の舞台に立てることに、とてもわくわくしました。

全国大会は、東京都の代々木体育館で開催されました。代々木体育館は、今まで見たことのない広さとチーム数で、とても緊張しました。

初戦の相手は福井県代表でした。相手チームは、ものすごくファールが多くあたりも強かったですが、それに負けず、自分たちで流れをつくり、33-21で勝つことができました。

2戦目の相手は滋賀県代表でした。初めから自分たちの持ち味である速攻で攻め、前半は19-6で折り返しました。ハーフタイムの時に、コーチから「これが最後の試合だ」と告げられました。ユニフォームの誤着で、棄権となってしまいました。でも、試合はきちんと4Qまで行うことになりました。残る後半、監督やコーチから「悔いのないようにやってこい」と言われ、私たちは最後の最後までやり切りました。試合は54-18で勝ちましたが、スコア上、0-20で棄権となり、予選敗退となりました。

残念な結果になりましたが、全国大会まで連れてきてくださった指導者の方々、支えてくださった保護者の方々、応援してくださった皆さま方、そして、かけがえのないチームメイトに心より感謝しています。

光井ミニバスケットボールスポーツ少年団

主将 上川 紫乃